

授業科目名	共生科学環境論	単位数	2単位
担当教員名	西村哲雄・浅見奈緒子	担当形態	オムニバス
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係			
<p>DP1.多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけることができる(貢献力)</p> <p>DP3.自分の専門以外の領域からも得られた知見を統合することができる(統合知)</p> <p>DP5.共生社会創造の目的のために、様々な分野について絶えず学び続ける態度を持つことができる(継続力)</p>			
授業のテーマ及び到達目標			
<p>私たちが住む地球は、46億年の長い歴史の中で現在があることを再認識する。持続可能な地球社会環境を子孫に残すため、水・土・大気の視点からの見方や考え方を再考し、一人一人が行動する意欲、意識、節制を心掛ける。</p>			
授業の概要			
<p>「共生科学環境論」は人と自然との共生を図るための教養を、土・水・大気の視点から身に付ける。そのため、生命と地球の歴史を概観し、過去に生命の大量絶滅が起きた原因を推論し、未来の地球の環境保全を考える。地球温暖化の速度を食い止めるために何ができるか皆さんで討議し、解決策を考える。</p>			
授業計画			
<p>第1回 はじめに</p> <p>第2回 気候に異変が起きている?</p> <p>第3回 地震大国日本</p> <p>第4回 環境白書(1)</p> <p>第5回 環境白書(2)</p> <p>第6回 災害</p> <p>第7回 COP28(1)</p> <p>第8回 COP28(2)</p> <p>第9回 COP28(3)</p> <p>第10回 環境問題</p> <p>第11回 宇宙(1)</p> <p>第12回 宇宙(2)</p> <p>第13回 ブラックホール(1)</p> <p>第14回 ブラックホール(2)</p> <p>第15回 地球</p> <p>科目修得試験</p>			
スクーリングでの学修			
<p>テキストに示しているQ1~Q35について興味のあるところをスクーリングでグループワークして、自らの考えを深めていく。</p>			
テキスト			
<p>自作テキスト資料 *クラスルームにて入手してください。</p>			
参考書・参考資料等			
<p>・丸山茂徳・磯崎行雄(1998)『生命と地球の歴史(岩波新書)』岩波書店、978-4004305439</p> <p>・『週刊 地球46億年の旅』(1号~50号・朝日新聞社)</p> <p>・環境省『令和3年版 環境・循環型社会・生物多様性白書』、<a href="https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/r03/pdf.html">https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/r03/pdf.html</a></p>			
学生に対する評価			
<p>スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)</p>			